

## PRESTO® A30

### 6Lのガラス反応容器を +50°Cから+20°Cに冷却運転

#### 目的：

このケーススタディでは、PRESTO® A30と6Lのガラス反応容器を接続し冷却能力試験を行います。

PRESTO® A30には2mのメタルホースを2本、接続します。

PRESTO® A30は +50°Cから+20°Cに冷却するプログラムで運転を行います。



#### 環境：

|    |               |
|----|---------------|
| 室温 | +20 °C        |
| 湿度 | 45 %          |
| 電源 | 230 V / 50 Hz |

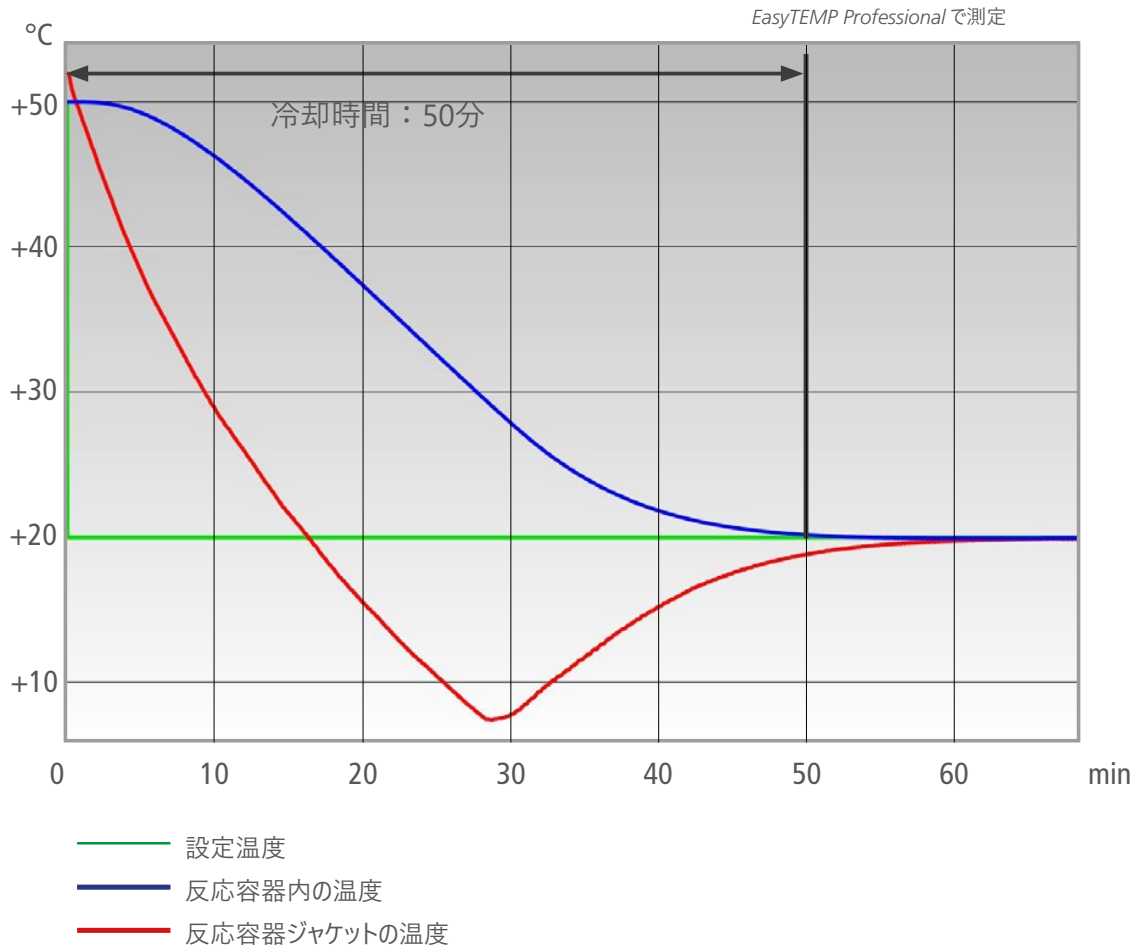
#### 試験条件：

|         |   |
|---------|---|
| 使用機種    | PRESTO® A30                                   |
| 冷却能力    | +20 °C 0.5 kW<br>0 °C 0.4 kW<br>-20 °C 0.2 kW |
| 加熱容量    | 2.7 kW  |
| バンドリミット | 設定していません                                      |
| ポンプ圧    | 0.5 bar                                       |
| 循環液     | ユラボ社製 サーマルHL60                                |
| 反応容器    | 6Lガラス製反応容器 (QVF)<br>(容器内にはサーマルHL60を5L充填しています) |
| ジャケット容量 | 4.5L  |
| 外部制御    | 外部制御 (ICC)                                    |



試験結果：

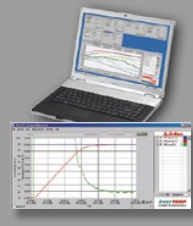
PRESTO® A30の冷却時間はアンダーシュートなしで、+50°Cから+20°Cまで50分でした。



情報：

無償でダウンロードできる EasyTEMPソフトウェアを使用すれば、パソコンでサーキュレーターを運転することができ、温度曲線グラフを表示することができます。

EasyTEMP



情報：

M+Rインラインセンサーを使用すると循環液の温度表示、温度記録が可能となります。

